

緩和ケア委員会

緩和ケア委員会委員長(外科部長) 田中洋輔

沿革

緩和ケア委員会は、2008 年に緩和ケアサポート委員会(須賀委員長)として発足し、2015 年から緩和ケア委員会(富田委員長)に名称変更した。2017 年 4 月より田中が委員長を引き継いだ。現在、緩和ケア委員会を毎月 1 回開催している。

委員会の構成は、医師 2 名、看護師 5 名、薬剤師 1 名、管理栄養士 2 名、理学療法士 2 名、ソーシャルワーカー 1 名、管理部 1 名である。

活動内容

1. 緩和ケアに関する院内勉強会
2. 緩和ケアに関する院内広報
3. 緩和ケアに関する情報共有

1) 新型コロナ感染症蔓延の影響はあったが、委員会は月 1 回開催した。長時間の会合を避けるため、院内症例検討は行なわなかった。

2) DNAR についての院内講演会を開催した。

講演会(会場+WEB、北岡医師講演)を 2023 年 1 月 24 日に開催した。

3) 医療機能評価に備えて電子カルテ掲載中の「がん性疼痛の麻薬処方(推奨)」を改訂し、改訂版を電子カルテに掲載した(電子カルテの《薬・細菌》のなかに「がん性疼痛」項目として掲載)。

4) 院内「緩和ケアマニュアル」の作成

日本医療機能評価機構から院内の「緩和ケアマニュアル」が無いことを指摘されたため、作成を開始し継続中で、2024 年 3 月に完成の予定である。

5) DNAR 同意書の改訂

DNAR 同意書改訂ワーキンググループの助けを借りて DNAR 同意書を改訂した。

6) がん患者指導管理料算定

「がん患者指導管理」実施に繋げるため、サイボウズ上の連絡掲示板を使用し、症例及び「指導管理」日程を、がん薬物療法専門看護師、外来/病棟看護師に周知している。

がん患者さんに対し、

イ. 診断結果と治療方法を説明し治療方針を提示して選択してもらう相談。

ロ. 日常生活の注意点説明や心理的不安軽減指導。

ハ. 抗悪性腫瘍剤の投与スケジュール、副作用、医療用麻薬使用方法等の説明。

の「がん患者指導管理」を実施している。

2023 年 1 月～12 月のがん患者指導管理料算定件数は以下であった。

・がん患者指導管理料イ：17 件

(緩和ケア研修終了医師とがん薬物療法専門看護師との 2 人同席が点数算定条件)

・がん患者指導管理料ロ：43 件 (緩和ケア研修終了医師か専門看護師のどちらか)

・がん患者指導管理料ハ：30 件 (がん薬物療法専門薬剤師か緩和ケア研修終了医師)

(参考、保険点数 イ：500 点、ロ：200 点、ハ：200 点)

この「がん患者指導管理料」イの算定は、緩和ケア研修終了医師とがん薬物療法専門看護師(これまでは 1 名であったが、2023 年 12 月に 2 名になった)の 2 人同席が点数算定条件であり、外来化学療法件数の増加で外来化学療法室(点滴センター)業務が多忙になった結

果、がん薬物療法専門看護師の同席が難しいことが、イの件数が少ないことの原因と考えられる。

今後の活動

コロナ感染症が終息したので、勉強会を企画し開催して行きたい。院内での緩和ケア、他院ホスピスへの接続、ひいては近森病院の医療の向上に役立つ活動を行って行きたい。なお次期より、委員長は外科田中から消化器内科北岡医師に交代する。